

<全体分析>

試験時間 90 分

<p>解答形式 記述(70点)・論述(30点) 分量・難易(前年比較) 分量(減少・変化なし・増加) 難易(易化・変化なし・難化) 大問4。Ⅰ～Ⅲは記述(小問数70)。Ⅳは200字の論述2題。 出題の特徴 時代別では、「原始・古代」「中世」「近世」「近代・戦後」で四分割の配点は例年と同じ。戦後は1995年の村山談話までが問われた。分野別では、社会経済から40%程度、政治から30%程度、外交から20%程度、文化から10%程度出題された。 その他トピックス 2014年度以来の文章4択問題がⅠ-Aで出された。</p>
--

<大問分析>

番号	出題形式	出題分野・テーマ	コメント(設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
Ⅰ	記述 <史料>	古代・中世・戦後 政治・外交	A 国司苛政上訴(『小右記』) B 嘉吉の徳政一揆(『建内記』) C 安倍晋三首相の戦後70年談話 (6)文章4択問題は注にも着目し、「入道殿」「摂政殿」が「百姓」の上訴を許容していたことを読み取りたい。(12)「辺土」が「洛中」と対比される地域であると判断できるかがカギ。(17)「終戦七十年」、すなわち2015年の首相を想起した上で、その祖父である岸信介を答えたい。	標準
Ⅱ	記述 (短文空欄 補充)	原始～近代 総合	①旧石器・縄文時代における石材の獲得 ②三角縁神獣鏡 ③古墳時代の刀剣銘文 ④飛鳥寺 ⑤蓮華王院とその宝物 ⑥琉球王国の成立 ⑦岩倉使節団と留守政府 ⑧自由民権運動期の女性論・女性運動家 ⑨衆議院議員選挙制度の変遷 エ「黒塚(古墳)」、カ「杖刀(人)」、テ「地租」が難しいが、それ以外は基本事項からの出題なので、確実に得点したい。	やや易
Ⅲ	記述 (前提文)	古代・近世・近代 政治・社会経済・外交	A 天平期の政治・社会 B お市とその娘・孫たちの時代 C 第一次世界大戦後から十五年戦争期の軍備と兵力動員 ウ「房戸」、ケ「軍事教練」、ス「国民義勇隊」は難。(3)「公出挙」は、出挙が実質的な租税であったことを想起し、設問文をヒントに正答を導きたい。(6)・(10)は歴史用語の丸暗記だけでは対応できず、知識の質が試される問題であった。	標準
Ⅳ	論述	中世・近世 社会経済	(1)鎌倉時代における荘園支配の変遷 「荘園支配」をどう捉えればいいのか戸惑った受験生も多かっただろう。付帯条件に着目し、鎌倉幕府・地頭と荘園との関係を軸に段階的に述べたい。 (2)田沼時代～幕末の三都における幕府の仲間政策 「地方市場」をどのように解答に組み込むのが難しい。「田沼時代から幕末まで」との時期設定から五品江戸廻送令にまで言及したい。	やや難

※難易度は5段階「難・やや難・標準・やや易・易」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準に判断しています。

- ① I～Ⅲの記述式 70 点、Ⅳの論述 30 点の配点を念頭に置いた学習計画を立てることが大切である。
- ② 全時代・全分野からまんべんなく出題される。I～Ⅲの記述式で高得点を確保するために、教科書を欄外の脚注なども含めてマスターしたい。
- ③ Ⅳの論述問題は対策の有無によって得点差がつく。早い段階から学習対策を立てて問題演習を行い、できる限り添削指導をうけること。
- ④ 史料問題は基本的に未見史料から出題されるが、市販の史料集などを利用して日頃から基本史料に慣れ親しんでおきたい。
- ⑤ 京都大学特有のひねりをきかせた設問対策として、夏期・冬期・直前講習および京大即応オープン・河合出版『入試攻略問題集 京都大学 地理・歴史』などの積極的な利用を薦めたい。